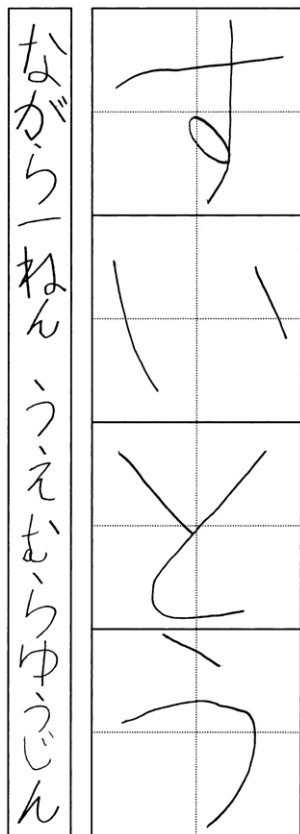


小 1 年

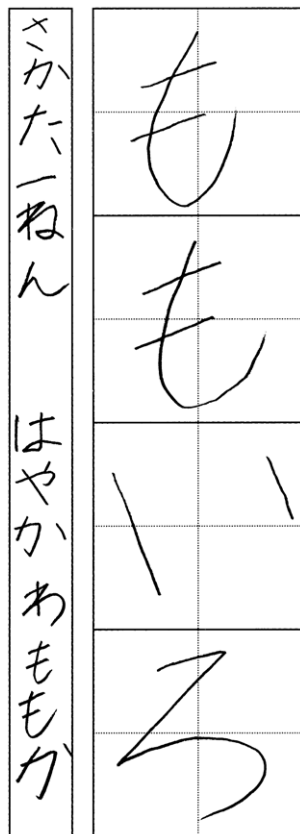


滋賀県書教育研究会長賞

植村 祐仁

ますめのちゅうしんにきをつけてか
けました。おさえずぎない、かろや
かなせんがすてきです。

小 1 年

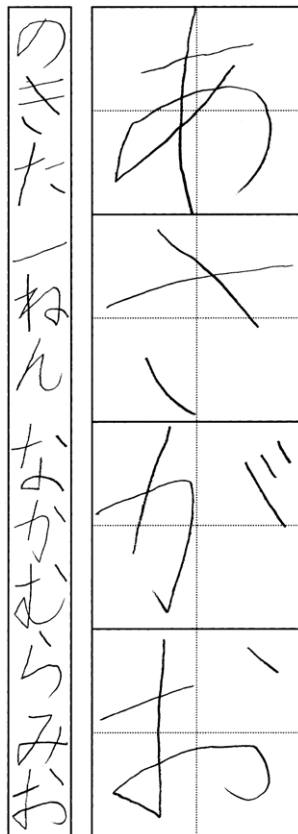


京 都 新 聞 賞

早川 桃禾

しっかりしたせんでかけました。と
め、はね、はらいも、とてもよいです。

小 1 年

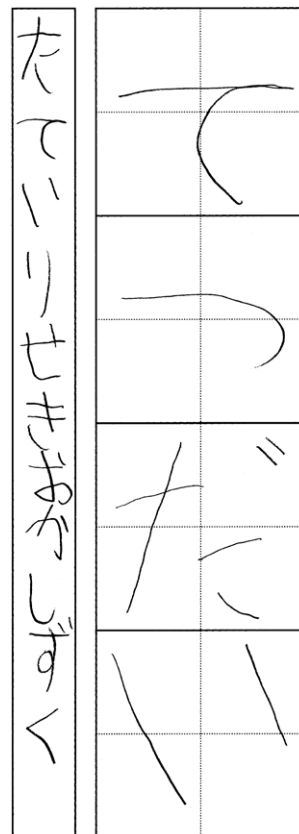


第 六 十 回 記 念 賞

中村 美音

なまえまでとてもいいねいにかけて
います。ゆったりとせんがひけまし
たね。

幼 稚 園

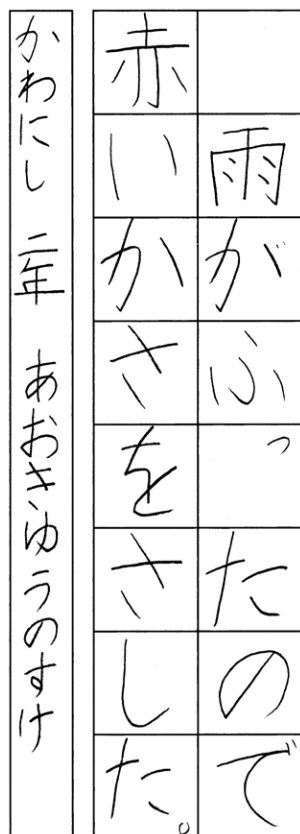


第 六 十 回 記 念 賞

関 岡 しずく

かるく、のびやかなせんで、なまえ
まできもちをこめてかけました。

小 2 年



滋賀県書教育研究会長賞

青木 ゆうのすけ

のびやかなせんで、ゆったりと書け
ていて、じつにどうどうとした作ひ
んです。

小 2 年

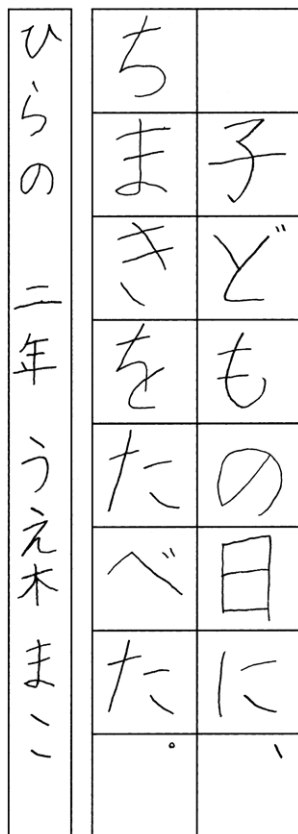


京 都 新 聞 賞

上 田 楓

じしんをもってどうどうと書けてい
ます。名まえまでバランスよく書け
ました。

小 2 年

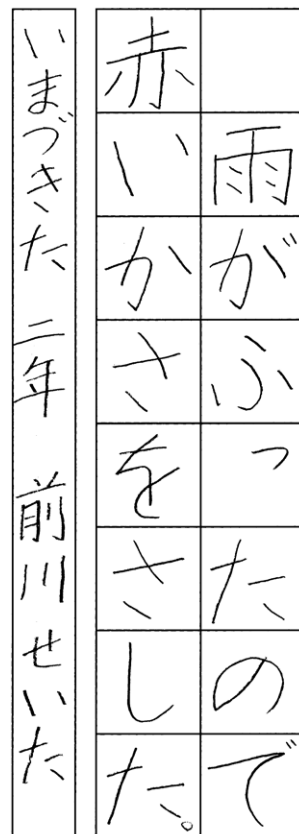


第 六 十 回 記 念 賞

植 木 麻 湖

名まえまでおなじょうして、一か
くずつていいに書きあげています。

小 2 年



草津市教育委員会教育長賞

前 川 晴 太

字けいがしっかり自分のものになり、
すっきりときれいなせんでかけてい
るすばらしい作ひんです。

小 3 年

小 3 年

小 3 年

小 2 年

おお木の里東三年いとう直弥

川	あ
で	じ
水	さ
あ	い
そ	の
び	花

第六十回記念賞

伊藤直弥

文字の中心がそろい、名前もふくめ作品全体がよく整っています。まっすぐ引いたたて画が作品をひきしめています。

マ東 三年 高木ゆいな

な	
に	雨
じ	上
を	が
見	り
た	に
	大
	き

滋賀県教育委員会教育長賞

高木唯菜

ひつあつが整い、落ちついていねいに書けています。漢字とひらがなのバランスもよく考えて書けています。

せ田北小三年谷川ま名と

絵	
葉	友
書	だ
が	ち
で	に
き	お
た	く
	る

滋賀県知事賞

谷川真名叶

文字のとくちょうをよく理かいて、しっかりと整えて書けました。名前まで集中して書けていて、見事です。

あど 二年 青木けんご

こ	
を	小
し	犬
て	と
あ	
そ	か
ぶ	け
	っ

滋賀県書道研究会長賞

青木謙吾

ゆったりと一かく一かくていねいのびやかに書けています。

小 4 年

小 3 年

小 3 年

小 3 年

マ西 四年 今井杏菜

話	
を	し
聞	ず
き	か
ま	に
し	先
た	生
	の

草津市長賞

今井杏菜

名前まで線の方角と間かくがそろっています。軽い筆圧で美しくまとまった作品です。

南こう里三年 さじひまり

ち	
を	た
大	す
七	け
に	合
し	う
よ	気
う	も

滋賀県書道協会賞

佐治柊愛莉

すっきりとした線が美しく、さい後まで集中して、まとまりのある作品になりました。

治田小三年 森い千ひろ

で	
ど	社
ん	会
ぐ	科
り	見
拾	学
い	
	山

滋賀県書道研究会長賞

森井千紘

漢字がつづくむずかしい語句ですが、それぞれの文字の中心をよく考えて、まとめた点がすばらしいです。

古ほり三年 しま田あいき

さ	
ん	は
ぽ	れ
に	
行	大
こ	す
う	き
	な

京都新聞賞

嶋田逢希

一画一画線の方角や角度をたしかめながら、落ち着いた気持ちで書けています。

小 4 年

北	白	
ご	い	大
う	ひ	空
里	こ	の
	う	か
	き	な
	雲	た
		に

滋賀県書教育研究会長賞

藤本彩空

すっきりとした線でのびやかに書いた作品です。

小 4 年

び	な	
わ	い	今
	青	朝
四	空	は
年	で	
	す	雲
		一
		つ

滋賀県書教育研究会長賞

室あやの

ひらがなの形が美しく、かん字のたて線がまっすぐにすっきり書けました。

小 4 年

ふ	白	
ぞ	い	大
く	ひ	空
四	こ	に
年	う	く
	き	つ
	雲	き
		り

京都新聞賞

石黒心美

はらいやとめが美しく、どうどうと大きくのびやかに書けています。

小 4 年

笠	い	
ぬ	流	銀
い	れ	の
四	星	絵
年	を	の
	か	具
	く	を
		使

第六十回記念賞

藤塚和奏

へんかつくりのバランスを考えて、一字一字心をこめて書いています。

小 5 年

安	に	
土		水
	し	平
五	ず	線
年	む	の
	太	か
	陽	な
		た

第六十回記念賞

門阪莉音

文字の大小に気を配り、字形も全てにおいて整っています。最後までいっかんした気持ちで書いた素晴らしい作品です。

小 5 年

長	写	
浜	真	時
	に	計
五	感	台
年	動	の
	す	美
	る	し
		い

滋賀県教育委員会教育長賞

矢島心暖

ゆったりと、堂々とした書きぶりです。文字の中心がそろい、とても美しい作品です。

小 4 年

青	話	
山	を	し
	聞	ず
四	き	か
年	ま	に
	し	先
	た	生
		の

滋賀県書道協会賞

辻田莉湖

線の方向を考えて、文字のバランスに注意しながら書いたのびやかな作品です。

小 4 年

金	話	
じ	を	し
ょう	聞	ず
四	き	か
年	ま	に
	し	先
	た	生
		の

滋賀県書道協会賞

大久保七美

名前まで、ゆっくりといいねいに、書けました。気持ちのよい美しい線です。

小 5 年

速野	五年	小濱	蘭
川	の	よ	う
に	流	れ	て
行	っ	た	。
く	星	の	間
を	、	白	い
雲	が	ま	る
で			
夜	空	を	見
上	げ	る	と
、			
ま	た	た	

滋賀県書道協会賞

小濱 蘭

多字数を文字の中心、バランスも考えて書けています。気持ちこめて書かれたことが伝わります。

小 5 年

仰木の里東	五年	池田	彩咲
虫	の	観	察
日	記		
夏	休	み	の
宿	題		

滋賀県書道協会賞

池田 彩咲

はらいの線が伸びやかで美しく、名前までいいに書ききりました。筆圧もいっかんしています。

小 5 年

七	さ	と	五	年	小野	ち	た	か
シ	が	リ	に	出	か	け	ま	し
た	。							
そ	わ	れ	て	、	わ	た	し	は
、								
イ	ノ	シ						
知	リ	合	い	の	か	リ	ゆ	う
ど	に	さ						

滋賀県書道教育研究会長賞

小野 智嵩

ひらがなの文字の形が整っていて、すっきりと仕上げられました。自分のリズムで運筆し軽快さが伝わります。

小 5 年

マ	東	五	年	山本	創	士
ど	ん	な	川	も	最	後
は						
大	河	に	流	れ	つ	く
。						

京 都 新 聞 賞

山本 創士

のびやかに書かれた作品で目をひきます。線質、字形ともに美しく完成された作品です。

小 6 年

瀬田東	六年	山菅	凛々香
術	家	に	高
く	評	価	さ
れ	て	い	る
。			
青	色	が	美
し	い	作	品
で	西	洋	の
芸			
歌	川	広	重
は	、	独	特
の	構	図	と

京 都 新 聞 賞

山菅 凛々香

とてもいいに書かれていてどの字も形が整っています。画数の多い字もバランス良く書けています。

小 6 年

瀬田東	六年	高森	湊帆
向	か	っ	て
前	進	す	る
最	高	学	年
、			
夢	に		

第六十回記念賞

高森 湊帆

むだな筆圧を加えず、のびやかな線で、リズムにのって書けました。はつらつとした気持ちの良い作品です。

小 6 年

長南	六	年	平山	勇	心
術	家	に	高	く	評
価	さ	れ	て	い	る
。					
青	色	が	美	し	い
作	品	で	西	洋	の
芸					
歌	川	広	重	は	、
独	特	の	構	図	と

草津市教育委員会教育長賞

平山 勇心

一字一字の形に細かく注意をはらいながら、全体として、とてもさわやかな作品に仕上がっています。

小 6 年

青	山	小	六	年	中田	麻	衣	花
川	の	よ	う	に	流	れ	て	行
っ	た	。						
く	星	の	間	を	、	白	い	雲
が	ま	る	で					
夜	空	を	見	上	げ	る	と	、
ま	た	た						

滋賀県知事賞

中田 麻衣花

すっきりと美しい線で最後まで書ききって見事。漢字とひらがながよく調和してすばらしい。

中 1 年

中 1 年

小 6 年

小 6 年

滋賀県書教育研究会長賞

野口唯七

長	
す	仲
る	間
最	と
高	と
学	も
年	に
	成

上田 六年 野口唯七

滋賀県書教育研究会長賞

木下 結衣花

印	新
象	し
的	い
な	作
画	品
家	集

笠縫 六年 木下 結衣花

草津市教育委員会教育長賞

松本 若菜

若葉 青松 歌曲 道路
和光 早足 太陽 初夏
彦根東中 一年 松本 若菜

第六十回記念賞

宮本 航士朗

行き帰り 心が晴れる
善は急げ バラ色の雲
瀬北中一年 宮本航士朗

漢字とひらがなのバランスを考えて書けました。線の間隔にも気を配れています。

素直ですっきりとした直線が美しい作品です。文字の中心も通っています。

一画一画気を抜くことなく、名前までいっかんに書ききることができた見事な作品です。

すっきりとした美しい線で、一画一画ていねいに書かれていて、組み立てがしっかりできています。

中 3 年

中 3 年

中 2 年

中 1 年

京 都 新 聞 賞

四本桃華

メロスは、その夜、一睡もせず十里の道を急ぎに
急いで、村へ到着したのは、あくる日の午前、
日はすでに高く昇って、村人たちは野に出て
仕事をはじめていた。 光泉中一年 四本桃華

第六十回記念賞

中島 瑠菜

古来より魔除けとして飾られた風鈴は江戸時代ガラスの
伝来によって目や耳にぶぶぶ音を叩き込む夏のアタマへと変化しました。
現代ではガラスのほかに金物や炭などでもつくられています。

彦根南 2年 中島 瑠菜

滋賀県知事賞

大森 結芽

理想は精神による秩序の予見である。(アミエル)
車の芸術は作品の背後に人間を求め、(ジャン)
知恵ある人は時間の損失を最も悲しむ。(ダンテ)
県立守山中 3年 大森 結芽

滋賀県書教育研究会長賞

白井 煌

化学 雲海 自然 研究
化学 雲海 自然 研究
高島 三年 白井 煌

ペンを軽く持ち、すべらせるように書けています。文字に広がりがあり、スケールの大きい作品です。

横書きに合う字形をよく捉え、すっきりとした筆致で名前まで一貫させた作品です。

字形が整っているだけでなく、接筆も確実で最後まで集中して書けており、秀逸です。

縦の流れがよく、行間の白も美しいです。軽やかな書きぶりです爽快な印象を与えています。

高 1 年

高 1 年

高 1 年

中 3 年

第六十回記念賞

松 環 奈



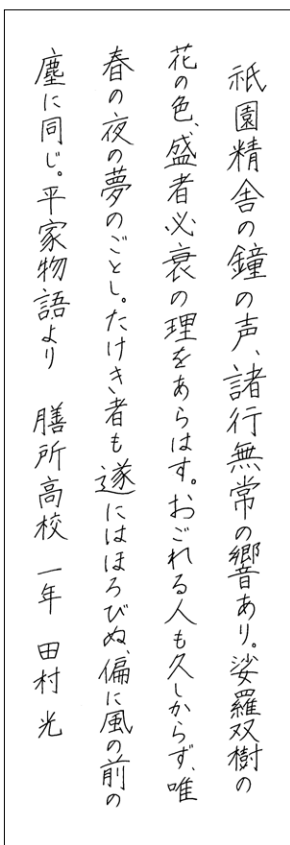
滋賀県教育委員会教育長賞

談 恵 佳



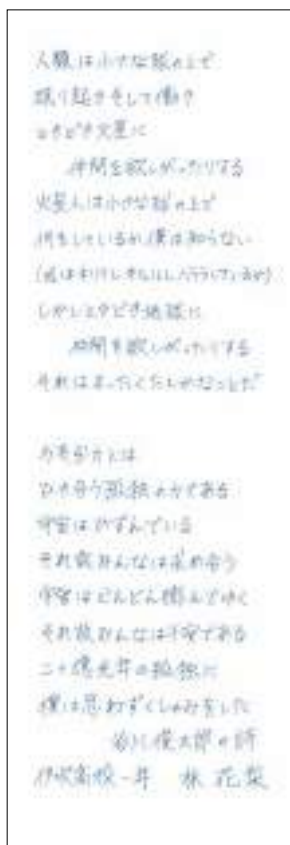
第六十回記念賞

田 村 光



京 都 新 聞 賞

林 花 梨



やや速書き調の軽いタッチでリズム良くまとめられた詩文作品。余白も美しい構成になりました。

丁寧で落ち着いた書きぶりです。漢字と仮名のバランスにも気を配って書いています。

美しくすっきりとした線。整齊にまとめられた字形。破綻なく書き切った秀作です。名前まで気を抜かず素晴らしい。

行書を自分のものにし、自然なリズムで書き切った秀作。左右上下、行間の余白、行の通事も見事です。

高 1 年

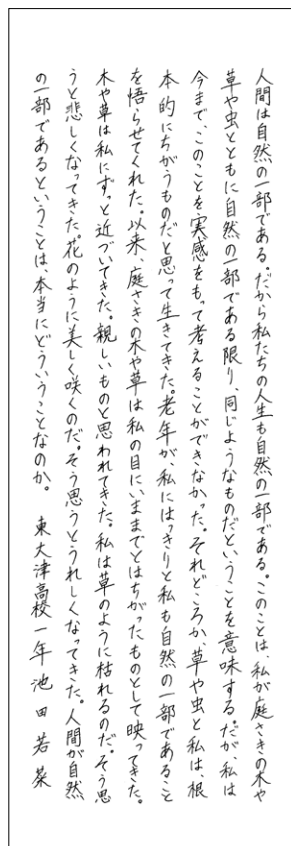
高 1 年

高 1 年

高 1 年

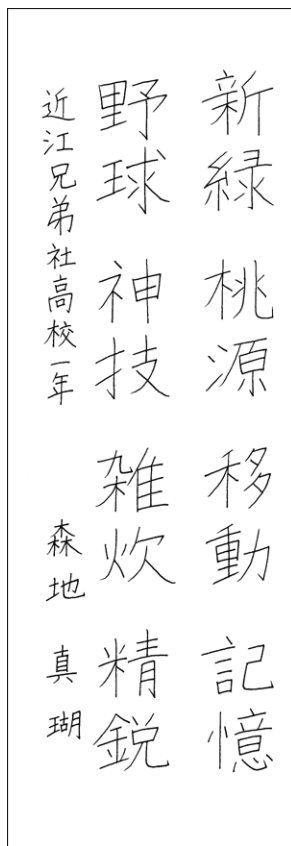
滋賀県書教育研究会長賞

池 田 若 菜



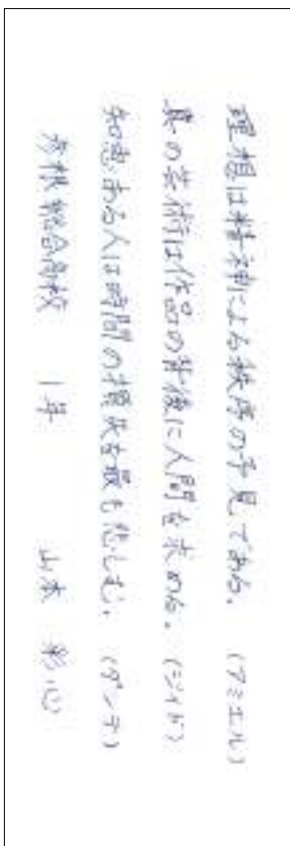
滋賀県書教育研究会長賞

森 地 真 瑚



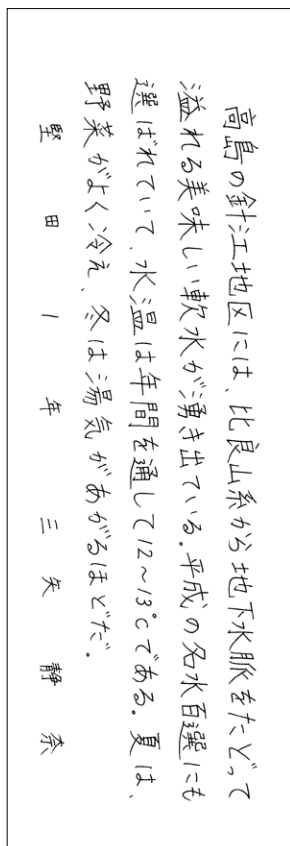
滋賀県書教育研究会長賞

山 本 彩 心



滋賀県書教育研究会長賞

三 矢 静 奈



漢字と仮名の調和とバランスに気を遣いながら、字配りよく丁寧な書きぶりで書き上げられた。

配字に工夫して三行のおさまりの良い構成が秀逸。横方向に伸びやかに一貫して書いて美しい。

直線基調の伸びやかな線で堂々と書き上げた楷書作品。自信たっぷりに書きぶりに好感。

中心をしっかり意識して一貫した調子で書き切った見事な作品。

滋賀県書教育研究会長賞

玉置彩菜

作品を書くということは、ただ筆をもて書けるものではありません。何か感動をあるものから受けて、その影郷音で自分の心が動き出し、書きたいと思う幻影が頭の中に作り出されます。出来上がった書の姿がはきりとした形でないまでも、見えてくるわけです。つまり……草津東一年 玉置彩菜

滋賀県書教育研究会長賞

平井美羽音

芭蕉が幼少期から青年期までを送た実家の環境は彼の人間を培う最も重要な要素にならに違ひない。その環境は一口で言えば山国の町の中でも最も土の香に満ちた地域であった。そこは自國城のすぐ東側で上野の町の東北隅に當っていた。上野の丘もそこを切れ芭蕉の家を出て四、五十米も北進すれば短坂道があり、すぐ平原の田圃に下りる。その坂が赤坂であり、その坂を登った所が赤坂町であつた。住民はほとんど農民であつた。芭蕉がその生の初期において多く見たものは実家に近、農民的な生活であつたに相違ない。大津高校一年 平井美明音

滋賀県書道協会賞

吉田 功

近江八景「堅田の落雁」で知られる浮御堂の正式名称は海門山満月寺。琵琶湖に浮んでいるような美しい情景は、松尾芭蕉や多くの作家によって数多くの作品の題材にされた。お堂からは、湖と周辺の山々を一望でき、人気スポットとなっている。堅田 一年 吉田 功

滋賀県書道協会賞

伴
奈々子

のべいうつんは滋賀県長浜市の郷土料理として親しまれている明治時代に誕生した湖北の名物です。大ぶりのシイタケ、湯葉、麩、かまぼこ、土シヨウウカなどの具材を秘伝のだして煮込み、葛粉でとろみをつけたあんをうづんにかけて食べます。冬の厳しい寒さや琵琶湖から吹く風の冷たさをしのぐために重宝されています。

守山高等学校一年 伴 奈々子

一字一字的確なペンの動きを保ちつつ、乱れることなく書ききりました。

五行の一貫性に配慮しながら、美しい配置で書き進められました。

多字数を大変丁寧なタッチで一貫しています。行間が美しく通りとても明るい作品となりました。

誠実で丁寧な書きぶりで、楷書の字形に気を付けてまとまっています。行の終わりが揃えばなお良かったと思います。

滋賀県書道協会賞

中山莉緒

作品を書くということは、ただ筆をもて書けるものではありません。何か感動をあるものから受けて、その影郷音で自分の心が動きだし、書きたいと思ふ、幻影が頭の中に作りだされ、ます。出来上がった書の姿がはつきりとした形でないまでも見えてくるわけです。つまり……東大津高一年中山 莉緒

滋賀県書道協会賞

清水啓成

眞の芸術は作品の背後に人間を求める。
天下を動かそうと思えば先ず自分から動け。
幸福ほど人間の美しさに對する化粧品はない。

長浜北 高一年 清水啓成

滋賀県書道協会賞

岡田咲月

秋水明落日 流光滅遠山
秋の川の流れに落日が反映し流れゆく
その光は遠い山々の間に消えてゆく
彦根東 一年 岡田咲月

滋賀県書道協会賞

中村 しゅり

十七年都平城京に遷された。出飛したその新國家によつて、歴史書「古事記」「日本書紀」が編まれた。奈良時代は、巨大な大仏が建立された仏教の時代であり、中國文化の摂取、模倣、調へた。和歌は漢詩文の流行におこられた。そうした中で、古くから伝へる多くの歌が、大伴家持の手中に集められた。「万葉集」である。この時代に栄えた文化も、天平文化という。強大な力を持つようになった寺院勢力もおおきなために、桓武天皇は、都を平安京に移し、中らが始めた律令政治の立て直しをはかた。そのため律令政治のめずきである中國の制度が熱心に穿はれた。愛知高板一年、中村しかり

多字数を細かく書くと、各々の行が揺れてしまいやすいが、それをうまく修正しながら書いていく。

漢詩とその読み下し文の組み合わせですが、バランスがよく、行書のリズムも素晴らしい。

比較的大きな文字を書くのは大変難しいものですが、行間も美しく書きました。

文字の大小変化をつけながら、その変化と全体の調和が良く配慮されています。

高 2 年

高 2 年

高 2 年

高 1 年

滋賀県書道協会賞

伴 乃々子

殷から周代にかけての文字資料としては、それとは別に、
祭祀用の青銅器に鑄刻された銘文、いわゆる金文がある。
甲骨文の簡潔で鋭い趣に比べて、金文は重厚で豊かな
造型性をもっている。
膳所高校 一年 伴 乃々子

滋賀県教育委員会教育長賞

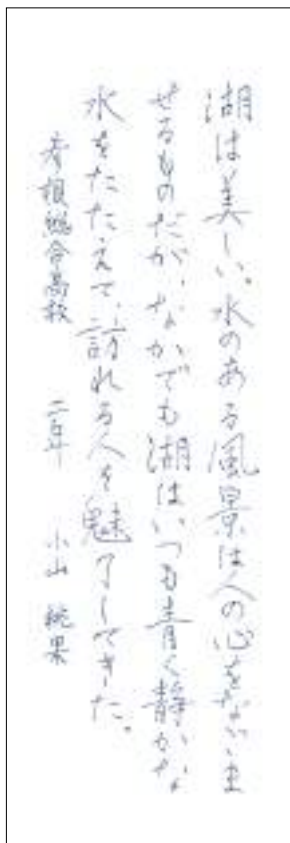
大谷 咲楽



自分のリズムを完全に身につけ、一貫した書きぶりが見事です。行間の余白も美しい作品に仕上げられました。

第六十回記念賞

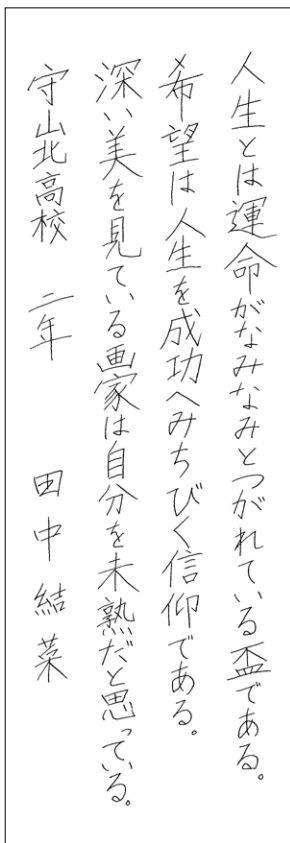
小山 桃果



腕を大きく動かし、余裕をもって書かれた行書に温かみを感じます。文字の大小や余白にもよく意を払っています。

京都新聞賞

田中 結菜



整然とした楷書作品。文字に伸びがあり線質がすばらしい作品です。

高 2 年

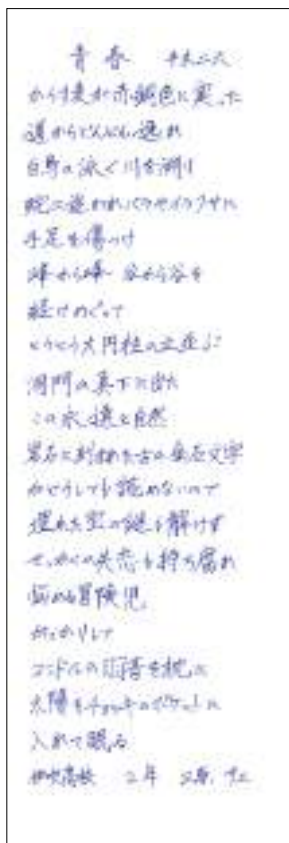
高 2 年

高 2 年

高 2 年

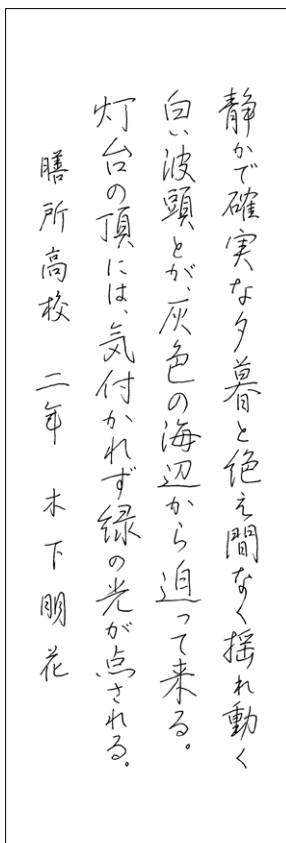
滋賀県書道研究会賞

三原 サエ



滋賀県書道研究会賞

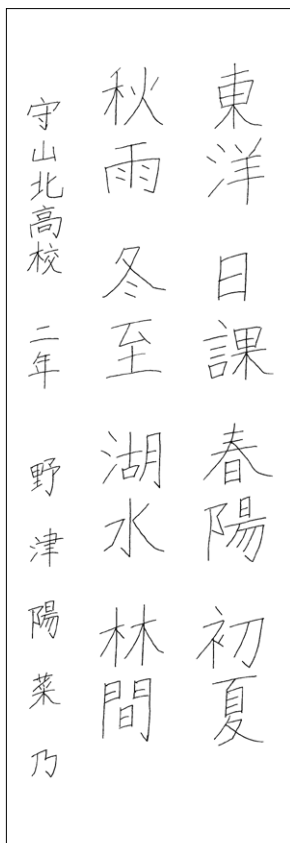
木下 朋花



ゆっくりと丁寧に書かれた行書作品です。行間の白も美しく、一生懸命な書きぶりが伝わってきます。

滋賀県書道協会賞

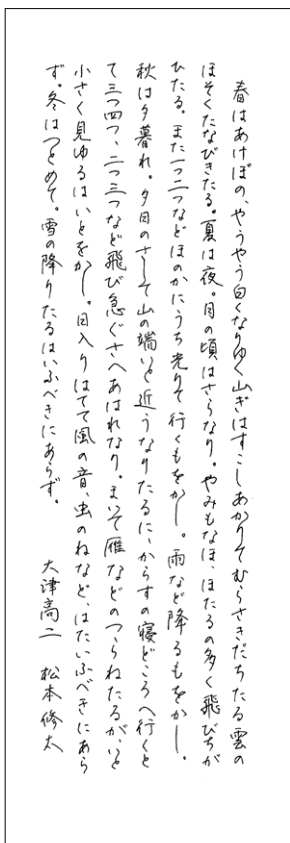
野津 陽菜乃



硬筆を学習されて来た成果が伝わる作品です。楷書の基本を忠実に守り、堂々とした線で名前まで一貫して書かれています。

滋賀県書道協会賞

松本 修太



多字数の古典の行書を柔らかなイメージでうまくまとめました。穏やかなペンタッチが心地良い作品です。

一 般



筆圧軽く柔らかなタッチで終始一貫書き貫いた練達の書。ペンの運びがゆったりとして余裕さえ感じさせます。

滋賀県知事賞

押谷曜子

高 3 年

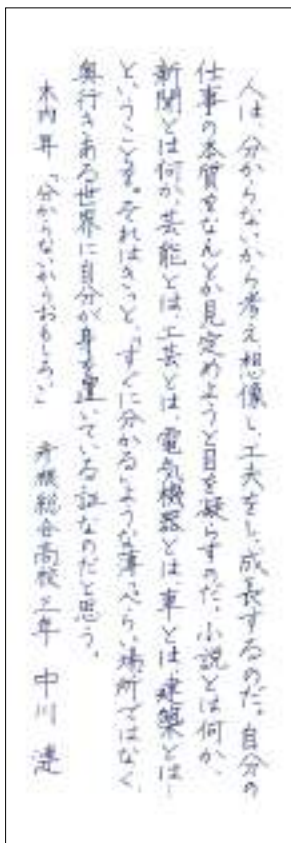


切れ味のある線で最後まで気持ちを集中して書いています。行間も美しいです。

第六十回記念賞

松村 菜々子

高 3 年



多字数の文章を終始一貫して着実に書き進めてお見事。一字一字に気持ちがこもっています。

草津市教育委員会教育長賞

中川 漣

高 3 年



行書体の特徴を身につけて一貫した運筆で書ききっています。おだやかでゆったりした作品になりました。

滋賀県知事賞

青山 咲稀

一 般



勢いのある線でリズムに乗りながら、しっかりとした字形で書かれており高い力量がうかがえます。

京都新聞賞

古賀 美穂子

一 般



文字の大小の変化に留意し、注意深くよく考えながらペンを進めています。知性に富む作品です。

第六十回記念賞

音居 玲子

一 般



しっかりとした書きぶり漢字の楷書に平仮名の字形を寄せることでうまく調和させています。

草津市教育委員会教育長賞

佐治 真実子

一 般

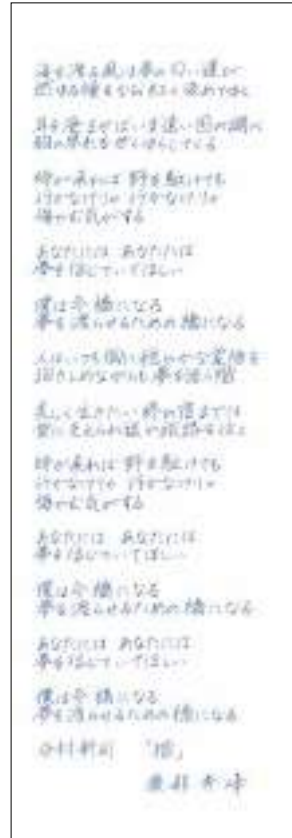


美しい線でリズムカルなペンの運びが素晴らしい。明るく洗練とした作品です。

滋賀県教育委員会教育長賞

新庄 明翠

一 般



滋賀県書道協会賞

廣部 秀峰

息を潜め集中し切ったような高い緊張感が漂う作品です。更に、明るさとリズムを加えるのが今後の課題でしょう。

一 般



滋賀県書道協会賞

高木 規子

切れ味のあるペンの運びで氏名まで安定した書きぶりが印象に残ります。長きにわたる錬磨の証でしょう。

一 般



滋賀県書道協会賞

中村 真紀子

見事に各行がまっすぐ通っていて行間の白が美しい秀作です。